



みどりのきずな

平成23年9月1日発行 第15号

【緑区地域福祉計画基本理念】

『地域住民のきずなを深め、みんなが
手を結び合い、住みよいまちづくりを推進する』
—明るい社会を築いてきた高齢者のために—
—未来を築く子どもたちのために—
—障害者(児)が希望を持って地域に生き、働けるために—

編集: 緑区地域福祉計画推進協議会広報部会

発行: 緑区地域福祉計画推進協議会事務局

(緑保健福祉センター 高齢障害支援課内)

千葉市緑区鎌取町 226 番地 1

TEL:043(292)8142 FAX:043(292)8276

「見せましよう」

緑区地域福祉計画推進の底力を

委員長 岡本 博幸

「見せましよう、野球の底力を。見せましよう、野球選手の底力を。見せましよう、野球ファンの底力を。共に頑張ろう、東北、支え合おう、ニッポン。」

四月二日札幌で行われた日本ハム対楽天の慈善試合で、楽天・嶋基宏捕手選手会長のスピーチです。感動的な挨拶として、多くの国民に感銘を与えてくれました。

そして、七月二十五日のオールスター第三戦のセレモニーで嶋選手が、またも感動的な名スピーチをいたしました。「生かされている僕たちは、自分の人生を切り開いていく使命があります。ヒトの生きる力に貢献すること。一緒に感動を分かち合い、熱くなり、ヒトの力を信じて前を向いて歩いていきましよう」とスピーチをして観衆から大きな拍手を浴びました。

引用が長くなりましたが、この言葉の中に地域福祉を推進する、私たちの思い、願い、気持ちが込められていると思います。

「見せましよう、野球の底力を」「見せましよう、緑区の底力を」「見せましよう、地域の底力を」「見せましよう、福祉の底力を」「見せましよう、地域の絆の底

力」というように。「人間力、地域力、福祉力、自治会力、向こう三軒両隣力」というように自分の考えている言葉に置きかえて読むことができると思うからです。

三月十一日金曜日。東日本大震災は、未曾有の大災害となりました。それに伴う福島原発の災害はいまだ収束する見通しも立たずその影響は、農・漁・畜・工・そして市民生活に計り知れない問題を残しています。しかし、復興への道のりは、一步一步這い上がっているのが現状です。そして、復興には、世界から注視されています。それに答えるには、「絆」の言葉に象徴されるようにつながりと分かち合いを大切にして震災の復興を成し遂げなくてはならないと思っています。

このような年に第二期緑区地域福祉計画が完成し、二十六年度にかけての福祉計画推進の内容が決定し実践の時を迎えました。震災時にスタートすることは、大変意義深いことと思っています。その第一は、地域共同体が問われていること。第二は、人と人との絆の大切さが問われていること。第三は、地域と行政の一体化が問われていること。第四は、人の生き方「ヒトの生きる力に貢献すること(嶋選手の言葉)」が問われていることでしょう。これらのことを念頭に置いて推進を

図っていきたいと考えています。

第二期地域福祉計画は、四年間でなすべき重点目標が設定されています。

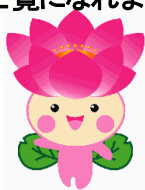
基本方針一「コミュニケーション」(地域の行事に参加しよう・核家族の子育て不安を解消・意見を聴取する会、講演会の開催・学校との交流)。基本方針二「施設の活用」(子どもたちへの支援・元氣な高齢者によるボランティアの支援)。基本方針三「緊急時の支援・対応」(災害時避難誘導体制の充実・七十二時間(三日間)自給生活の徹底・地域の諸団体、行政機関との連携)。基本方針四「身近な生活支援」(安否の確認・まちの安全点検)。基本方針五「交通対策」(地域住民の実態把握・移送サービス事業の検討・歩道等の改善)が挙げられています。

「地域住民のきずなを深め、みんなが手を結び合い、住みよいまちづくりを推進する」この基本理念実現のため、皆さんとともに歩んでいきたいと思っています。ご支援よろしくお願いいたします。

千葉市地域福祉計画

検索

千葉市ホームページから
「第2期緑区地域福祉計画」がご覧になれます！



「花の都・ちは
シンボルキャラクター
ちはなちゃん」

誉田地区

◆元気で頑張っています！

平山小学校地区体育振興会（会長 松澤衛二）では、地域の方々の健康増進・住民相互の親睦の向上を目的として、数々の体育事業を実施しています。その中でも、他地域でも盛んに実施しているグラウンドゴルフを当会でも年五回実施し、毎回たくさんの方々が参加し和気あいあいとした雰囲気と同時に親睦を深めています。



◆東日本大震災で被災された高齢者の方々に膝掛けを送ります。



誉田二丁目いきいきサロン『ひまわり』は、被災された高齢者の方々に、東北地方の冬の寒さを少しでも和らげようようにとの思いで、私たちいきいきサロンの仲間たちが頑張つて膝掛けを作っています。

私たちサロン『ひまわり』の仲間たちも高齢者の集まりであり、今回の大震災では弱者高齢者の苦しさや悲しさは心が痛むほど分かっているつもりです。

その為、サロンの仲間たちは東北地方が寒くなる前までに間に合うように、縫い合わせしてできるだけたくさんの膝掛けを作り送ります。

椎名地区

◆椎名の「ふれあい食事会」では

こんなことをしています

みんな高齢になると、つい面倒くさくなり、家に引きこもりがちになり、楽しめる目的があつてもなかなか出歩かなくなります。

椎名地区では、ただ集まって食事するだけではなく、より多くの方々に楽しんでいただくために、いろいろな催しを行っています。

例えば、

- 会場までの歩け歩け運動
- 食前の「おしゃべり」タイム
- 健康維持のための生活の知恵
- みんなで唄う「懐かしい歌」
- みんなで遊べるゲーム
- 芸達者会員による踊り
- フラワーアレンジを楽しむ
- 椎名小学童との「ふれあい」などを順次行っています。

自慢できるのは、色彩も豊かな歳時を示す弁当の包み紙です。これは、八十四歳の光輝・高齢会員の作品で、弁当を食べる前の楽しみでもあり、話しに花が咲きます。



◆子どもたちを地域のみんなで見守っています

椎名地区は、まだ自然が多く残り、林や野の草も多く、子どもたちの登下校時の楽しみの一つになっています。またその反面、見通しが悪く人通りも少ないため、安全面では注意を要する地域です。

下校時の子どもたちには、昆虫や草花に触れさせ、感受性豊かでルールを守る子どもに育つよう、少しの道草は容認しています。

ボランティア防犯隊員達は、付かず離れず、行動と安全をしつかり見守っています。



土気地区

◆ボランティア研修と交流の集い

土気公民館で八十二名参加

七月十三日（水）、スポーツインストラクターの石倉亜紀さんの指導で、ボランティア研修会が行われました。

いきいきサロン・散歩クラブ・子育てサロン・食事サービスで活動している大勢のボランティアが参加し、健康維持に役立つ運動、サロンの活動に利用できる運動を指導していただきました。

歌に合わせて指の運動、二人組になりタオルを使つての反射運動、ゲーム的運動では歓声が上がリ、やや難しかったですが、楽しい運動になりました。特に、脳を使い『正しい運動方法を知って自分も周りも元気になろう』というタイトル通り意識的に運動する方が効果的だということも学びました。

運動の後は、グループに分かれ軽食をとりながら歓談し、和やかで意義のある交流会になりました。

【社協土気地区部会】



おゆみ野地区

◆コミュニティづくり懇談会

平成七年に地域住民の連帯意識を高め地域づくり活動の推進を図る事を目的として発足した懇談会ですが、この六月の全体会で幕を閉じ、新会長のもと、事務局体制も一新し生まれ変わりつつあります。団体を背負わず個人の意思で参加しようとの呼びかけで自主的に理事など三十名近くが集まり七月三十一日の臨時全体会で始動です。おゆみ野全体の方が個人でも団体でも関われ、コミュニティの場を広げていくのがこの懇談会です。こみこん祭りも含めて、皆さまのご意見をお待ちしています。

◆元氣もあり夏休み(お楽しみ会)

今年で三年目の「流しそうめんとスイカ割り」は、障がい児とその家族を対象とし七月十八日鎌取コミュニティセンター円形広場で大盛況に行われました。年々参加者が増え今年は六十七名になりました。今後も有意義な会を広げていきたいと思ひます。【障がい者福祉委員会】



◆「戦争体験を語る会」に参加して

七月三日（日）、おゆみ野女性の会が主催する「戦争体験を語る会」が開催されました。

戦時中の壮絶な体験談を荒井さん（当時十二歳）からお話しいただき、ちば・戦争体験を伝える会代表の市川まり子さんは「炎に焼かれたお不動さま」と「お地藏さまに祈る」の紙芝居をご披露くださいました。

また、元小学校長の徳永さんによりアコーディオンを使って「隣組」「兵隊さんよありがとう」、「鐘の鳴る丘」等の昔の童謡を参加者全員で楽しく歌わせていただきました。

最後に、サプライズとしてとってもおいしい「すいとん」をいただきました。ただ、参加者の方から当時の味を振り返ると、こんなにおいしいものではなかった...との声も。

今回参加させていただき、私も中

H23年度緑区地域福祉計画推進協議会委員

- ◆岡本 博幸(委員長)
- ◆田宮 妙子(副委員長・広報部会委員)
- ◆矢野 正康(副委員長)
- ◆中村 和彦(広報部会委員)
- ◆高金 進(広報部会委員)
- ◆本田 英作(広報部会委員)
- ◆稲山 京子(広報部会委員)
- ◆秋山 正俊 ◆時田 豊
- ◆烏山 美知子 ◆徳田 重雄
- ◆大槻 勝三 ◆中村 輝男
- ◆鴨 省次郎 ◆平山 ひろ子
- ◆川瀬 康行 ◆山田 清
- ◆小山 義春

第2期 緑区地域福祉計画



発行者:ちば・戦争を伝える会
発行所:和泉書房

学生の頃、今は亡き祖父から戦争の体験談をよく聞いたのを思い出しました。
悲惨な戦争を二度と繰り返さないことを祈るばかりです。ただ、今も世界中のどこかで戦争が行われているということを忘れてはいけな...。【N・W】

TOPIX

◆「緑消防署敷地内防災倉庫」及び「おゆみ野さくら公園非常用トイレ」の見学会が行われました！

三月十一日(金) 十四時～緑区地域福祉計画推進協議会委員を対象に緑区役所地域振興課安全安心係職員の案内により、防災倉庫を見学しました。その場で備蓄品等の様子を確認し質疑応答を行いました。その後、おゆみ野さくら公園に移動し、非常用トイレの設置を体験しました。

見学終了

後、緑区役所で意見交換を行う中、東日本大震災が発生し、



参加した委員にとって災害対策の必要性を強く感じた印象に残る見学会となりました。

◆「千葉市あんしんケアセンター」裕和園からのお知らせ

高齢者の介護や福祉などに関するさまざまな相談に応じています。まずはお電話を↓300-4855

◆編集後記◆

平成十八年にスタートした『緑区地域福祉計画』も六年目に入り、活動状況を住民の皆様にお知らせする「みどりのきずな」も第15号を発刊するに至りました。地域情報が少ないお役に立っているでしょうか？

広報委員として、大切な情報を提供できるよう更に頑張りますので、ご意見、情報などがございましたらお寄せ下さい。宜しくお願いします。(N)



(月)土、九時～十八時
毎月第一火曜日は緑保健福祉センターで、毎月第二木曜日は古市場地区で出張相談をしています。(十三時三十分～十五時)
詳しくは右記にお問い合わせください。

緑区福祉の相談窓口

【緑保健福祉センター】

<http://www.city.chiba.jp/midori/chikishinko/kenhukusic.html>

・高齢障害支援課

高齢支援係 ☎ 292-8138
障害支援係 ☎ 292-8150

介護保険室 ☎ 292-9491

保健福祉総合相談 ☎ 292-8142

《高齢者福祉、障害者福祉、介護保険に関する相談・申請・調査・認定等》

・社会援護課

社会給付係 ☎ 292-8135

保護第一係 ☎ 292-8152

保護第二係 ☎ 292-8153

《生活保護費の給付・相談・申請受付等》

・子ども家庭課 ☎ 292-8137

《保育所、子どもルーム、子ども手当、児童扶養手当、児童に対する福祉の相談等》

健康課

すこやか親子係 ☎ 292-2620

健康づくり係 ☎ 292-2630

こころと難病の相談係 ☎ 292-5066

《母子健康手帳の交付、育児支援、成人・高齢者の健康に関する相談・訪問、各種がん健診等》

【社会福祉協議会緑区事務所・緑区ボランティアセンター】 ☎ 292-8185

《地域福祉の推進、地区部会との支援、ボランティア活動に関する相談や各種講座の開催、車椅子貸出、生活福祉資金の貸付相談等》

<http://www.chiba-shakyo.com/>

【あんしんケアセンター】

・裕和園 ☎ 300-4855

・千寿苑 ☎ 295-0110

《介護予防ケアマネジメント、総合相談支援、虐待の早期発見・防止、権利擁護等》